



平成 28 年 12 月 14 日

各 位

会 社 名 サンバイオ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 森 敬太
(コード番号：4592 東証マザーズ)
問い合わせ先 執行役員経営管理部長 角谷 芳広
(TEL. 03-6264-3481)

業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月 16 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせします。

また、平成 29 年 1 月期第 3 四半期累計期間（平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）においては、営業外費用（為替差損）を計上しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 29 年 1 月期業績予想値の修正（平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日）

	事業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	886	△3,814	△3,830	△3,641	△81.62
今回修正予想 (B)	947	△1,804	△2,301	△2,136	△47.65
増減額 (B) - (A)	61	2,010	1,529	1,505	
増減率 (%)	6.9	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 1 月期)	1,174	△1,125	△1,172	△988	△22.67

修正の理由

当期の業績予想につきましては、提携先である大日本住友製薬株式会社との契約に基づく、マイルストーン収入および開発協力金収入により、ほぼ計画通りの事業収益を見込んでおります。

一方、費用については、期初に策定した費用計画のうち臨床試験費用等に未消化分が発生することが見込まれることから、損失が計画値に比べて縮小する予想に修正いたします。これは、臨床試験費用等の計画には不確定要素が多かったため、計画策定時に想定し得る最大限の臨床試験費用等を織り込み、保守的な計画としたことによるものです。

当社グループでは、現在米国において大日本住友製薬株式会社との共同開発契約のもと、当社グループが独自に開発した再生細胞薬 SB623 について慢性期脳梗塞の患者様を対象にフェーズ 2b 臨床試験を被験者数 156 人規模で実施しています。同試験については、平成 28 年 3 月に最初の被験者様の組み入れを実施し、その後も順次組み入れが進展しているところです。

また、脳梗塞に次ぐ適応疾患として外傷性脳損傷を起因とする慢性期の運動障害をお持ちの患者様を対象に、当社単独でフェーズ2臨床試験を日米国際共同治験（被験者数は日米合計で52人規模）として進めており、米国においては平成28年7月に、日本においても同年10月に最初の被験者様の組み入れを実施し、その後順次組み入れを進めております。

来期（平成29年2月1日～平成30年1月31日）の業績予想については、上記の内容を踏まえ、平成29年3月中旬に発表する予定であります。

なお、当期業績予想の修正にあたり、為替レートは、11月末時点のレート及び当社第3四半期累計期間の期中平均レートを用いております。

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。

2. 営業外費用（為替差損）の計上について

平成29年1月期第3四半期連結累計期間において、為替相場の変動により為替差損が発生したため、営業外費用として為替差損565百万円を計上しました。これは、主に当社保有の外貨建資産に対するもので、為替が前期末に対し円高に推移したことにより発生した為替差損であり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

以 上